

令和6年度 第1回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎暮らし向きについて

このアンケートは、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。令和2年度まで実施していた消費生活モニターのアンケートと同内容のものを含んでいます。その部分については、過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

◎エシカル消費について

「『人と社会、地球環境、地域のことを考慮して作られたモノ』を購入・消費することを【エシカル（倫理的な）消費】と言います。エシカル消費を意識した行動は、「消費者一人ひとりが、より良い社会の発展と改善に積極的に参加する社会」を意味する【消費者市民社会】の普及につながります。エシカル消費に関する認知度・理解度を調査することで、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

2 調査事項

「Ⅰ. 暮らし向きについて」、「Ⅱ. エシカル消費について」

3 調査対象 令和6年度消費生活eモニター 45名

Ⅰ. 回答者数43名・回収率 96%、

4 調査方法 市ホームページの回答フォームによる

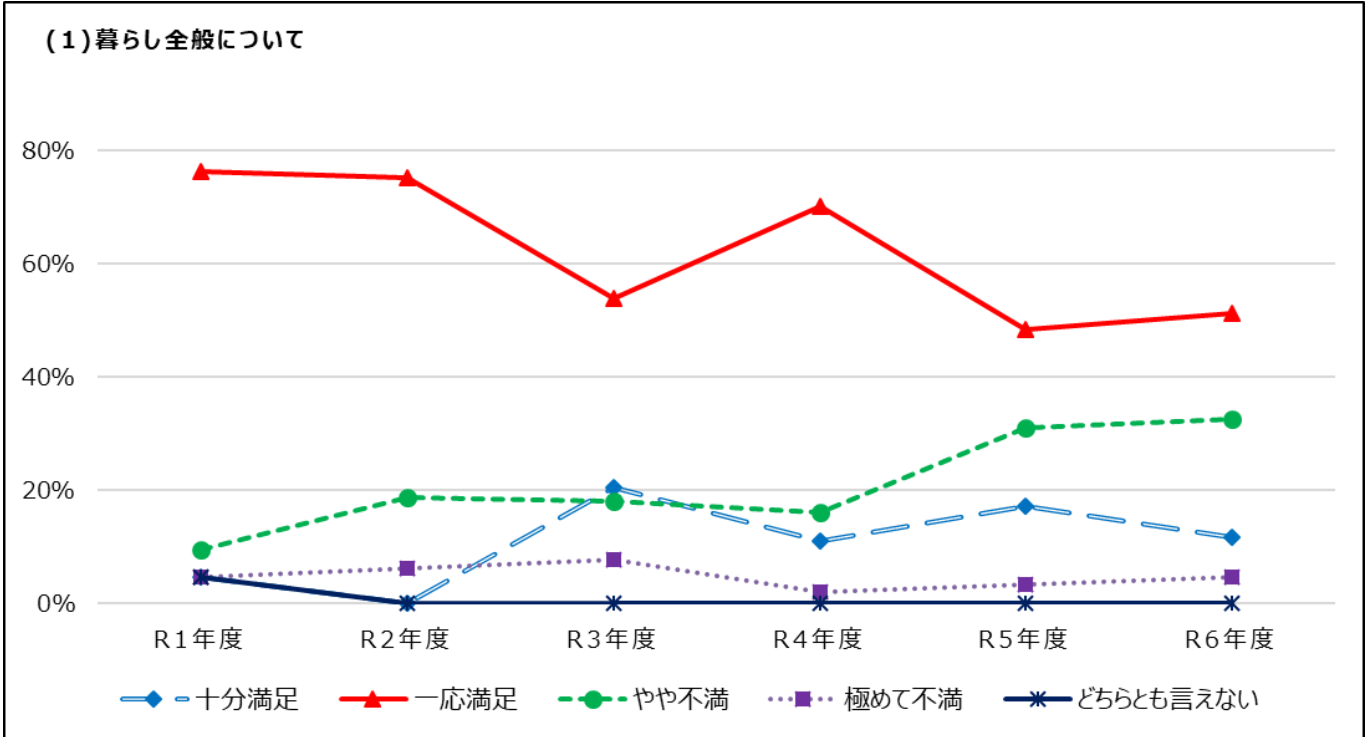
- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない場合があります。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由回答、その他意見は一部抜粋。



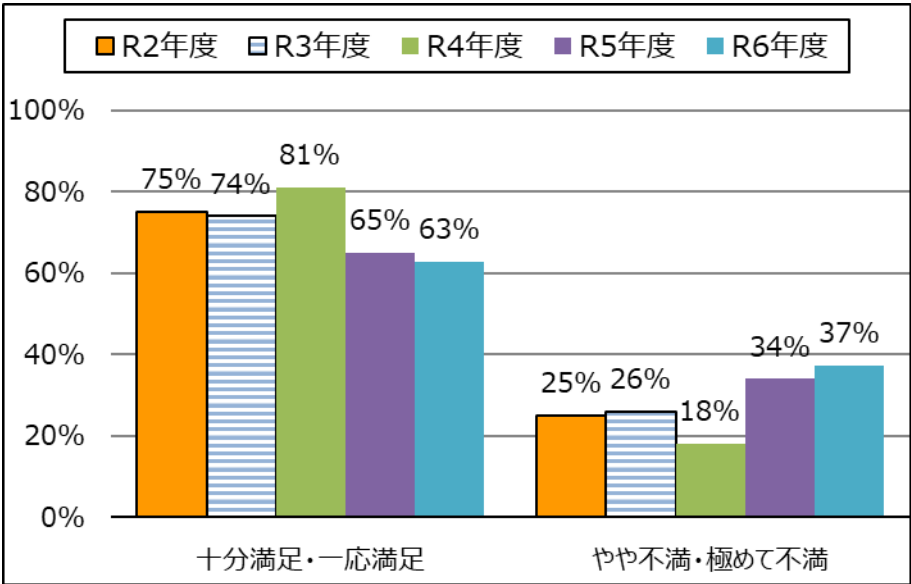
I.暮らし向きについて

※令和2年度まで実施していた消費生活モニターのアンケートと同内容のものを含んでいるため、その部分については過去の調査結果と比較しています。

問1 家庭の暮らし向きについてお伺いします。(1) 暮らし全般について (2) 衣生活について
(3) 食生活について (4) 住生活について (5) レジャー・余暇の生活について



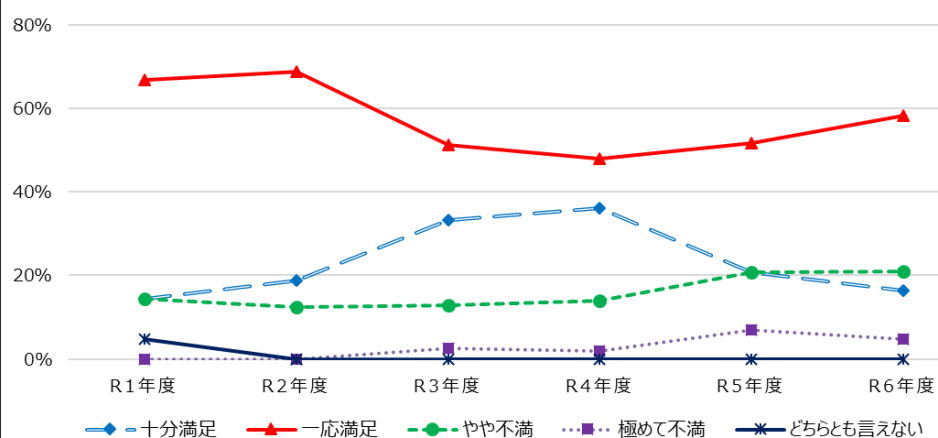
★ 暮らし全般については、昨年度より『十分満足』との回答が微減していますが、昨年度とほぼ変わらない結果となっています。



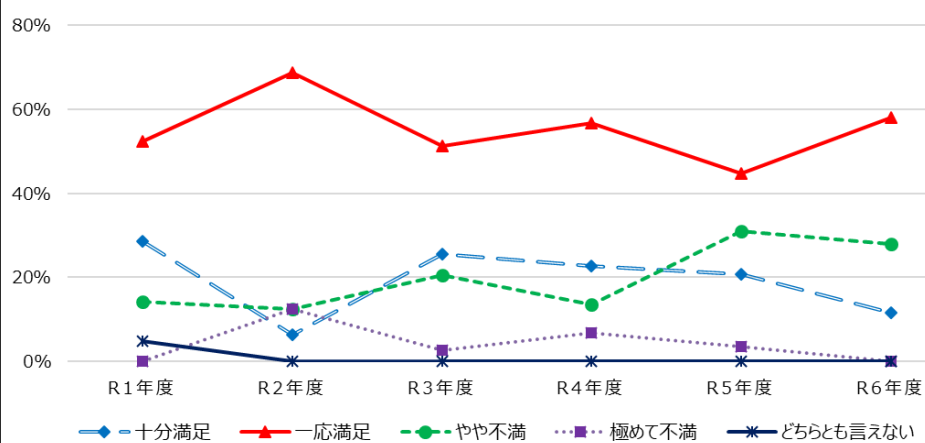
昨年度までと同様、『十分満足・一応満足』の割合が『やや不満・極めて不満』の割合よりも多い結果となっています。



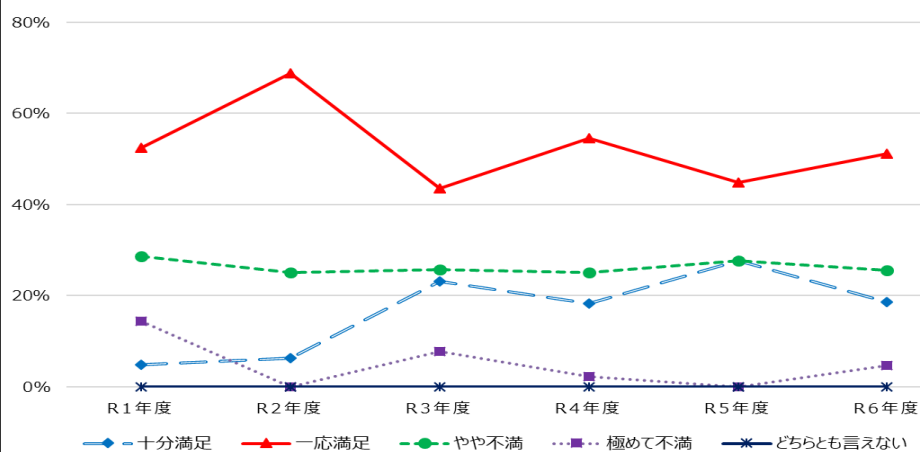
(2)衣生活について



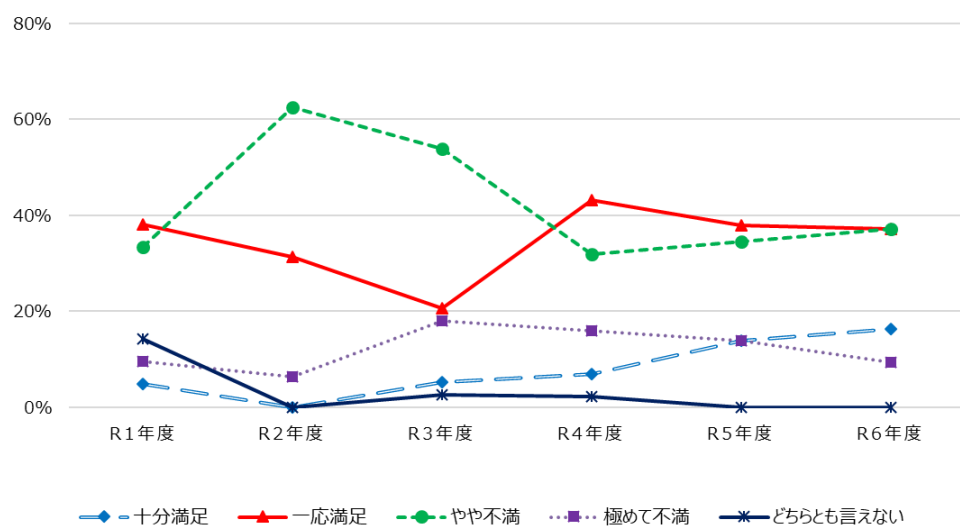
(3)食生活について



(4)住生活について



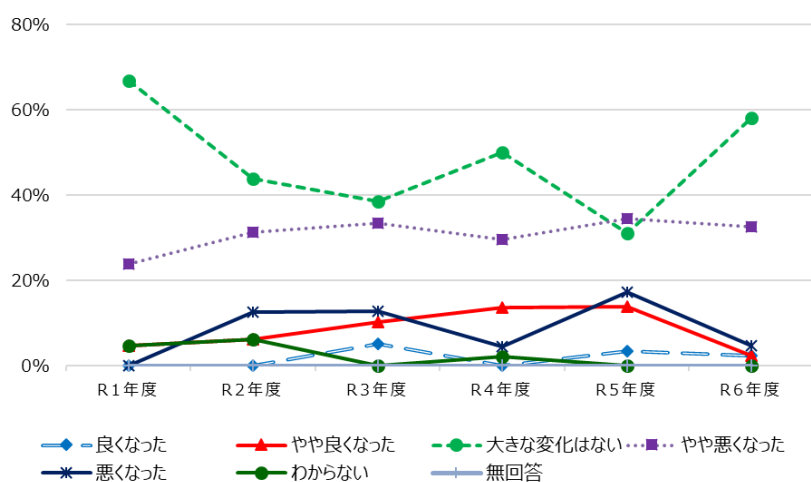
(5) レジャー・余暇について



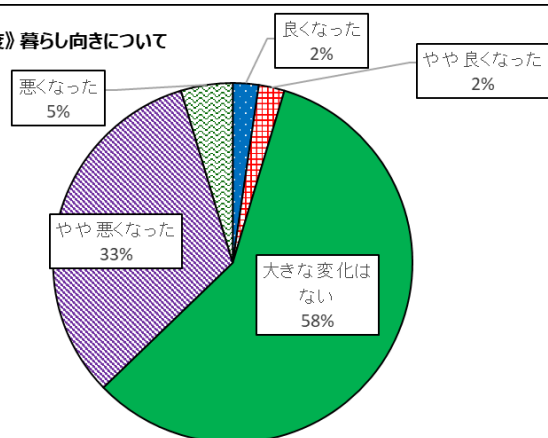
★個別の項目についても、全体的に昨年度と、ほぼ横並びの傾向にあります。

問2 家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？

問2 暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？

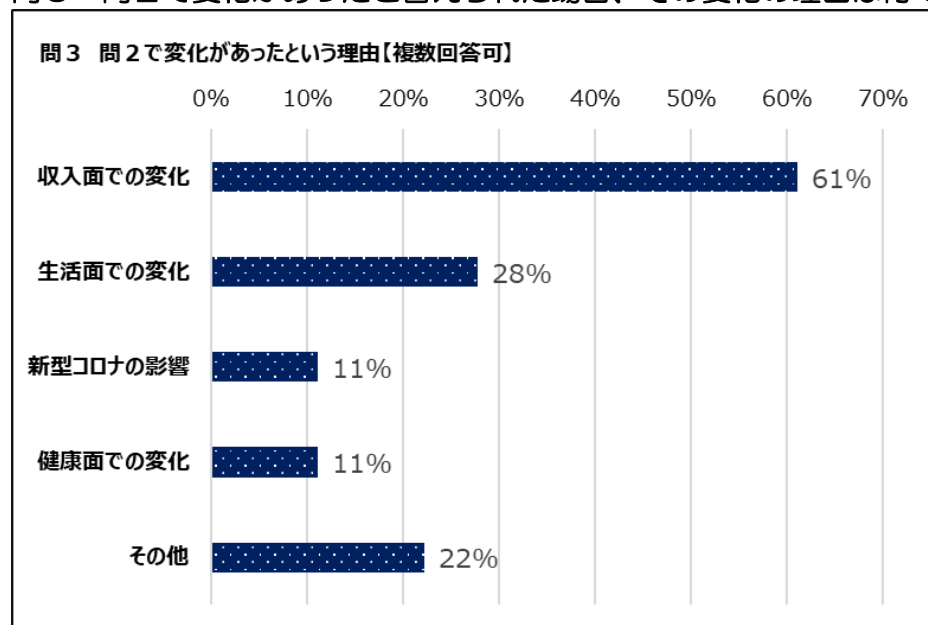


《令和6年度》暮らし向きについて



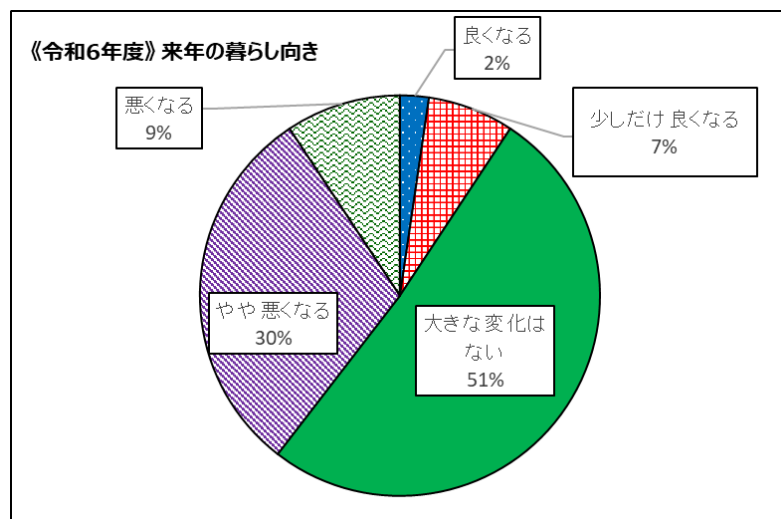
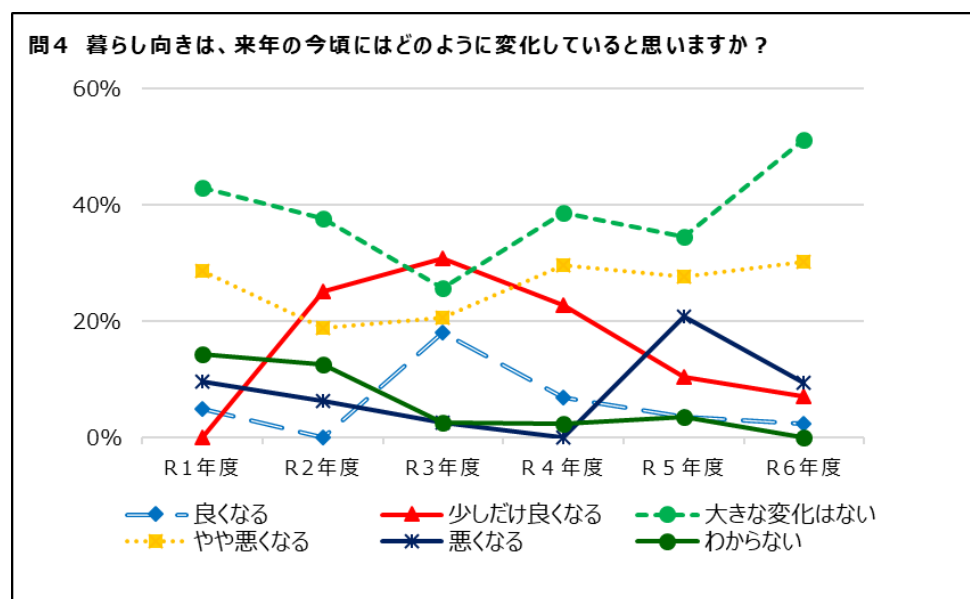
★ 昨年との比較での暮らし向きについて、昨年度は『やや悪くなった』『悪くなった』との回答は合わせて51%と増加傾向にありましたが、本年度は『大きな変化はない』との回答が58%と大きな割合を占めていました。

問3 問2で変化があったと答えられた場合、その変化の理由は何ですか？【複数回答可】



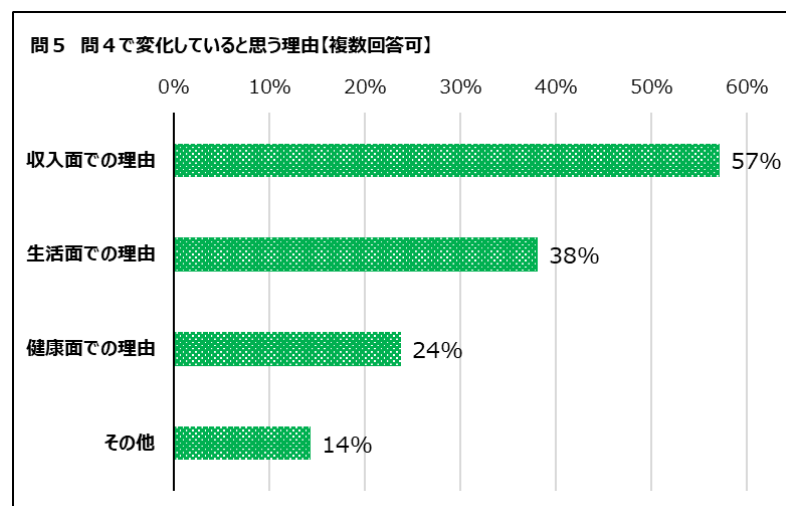
★ 変化があったとの回答の理由では、『収入面での変化』が多く、61%を占めています。

問4 家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



★来年の暮らし向きの予想について、昨年度より『悪くなる』『やや悪くなる』との回答が48%から40%へ減少し、『良くなる』『少しだけ良くなる』との回答が13%から9%へと減少しました。反対に『大きな変化はない』が17%増加し、来年度の暮らし向きも今年度と変わらないと予想する方が多いことが分かります。

問5 問4で変化していると思うと回答された場合、その変化の理由は何ですか？【複数回答可】



その他の内容

《悪くなる》

- ・物価上昇による影響

《やや悪くなる》

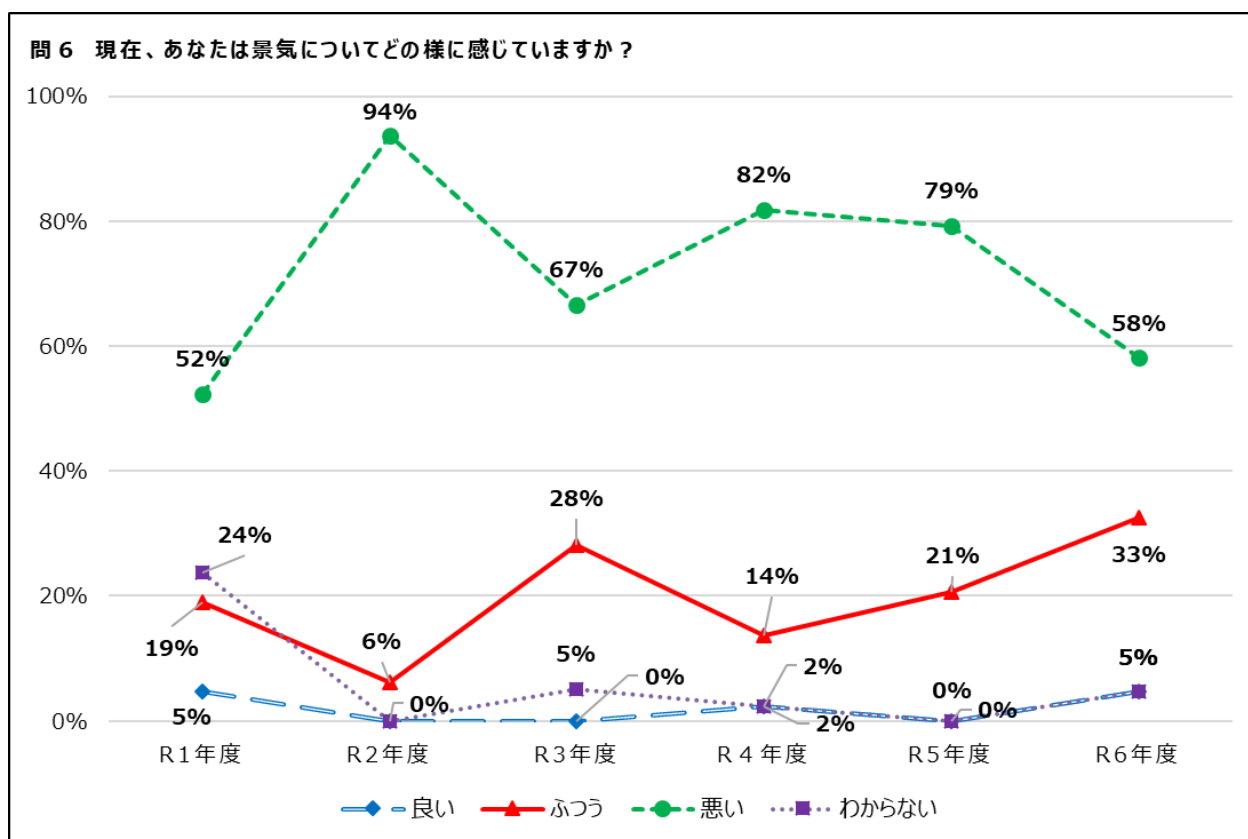
- ・物価高が家計費に与える影響による。

《良くなる》

- ・世の中だんだん良くなると思うから。

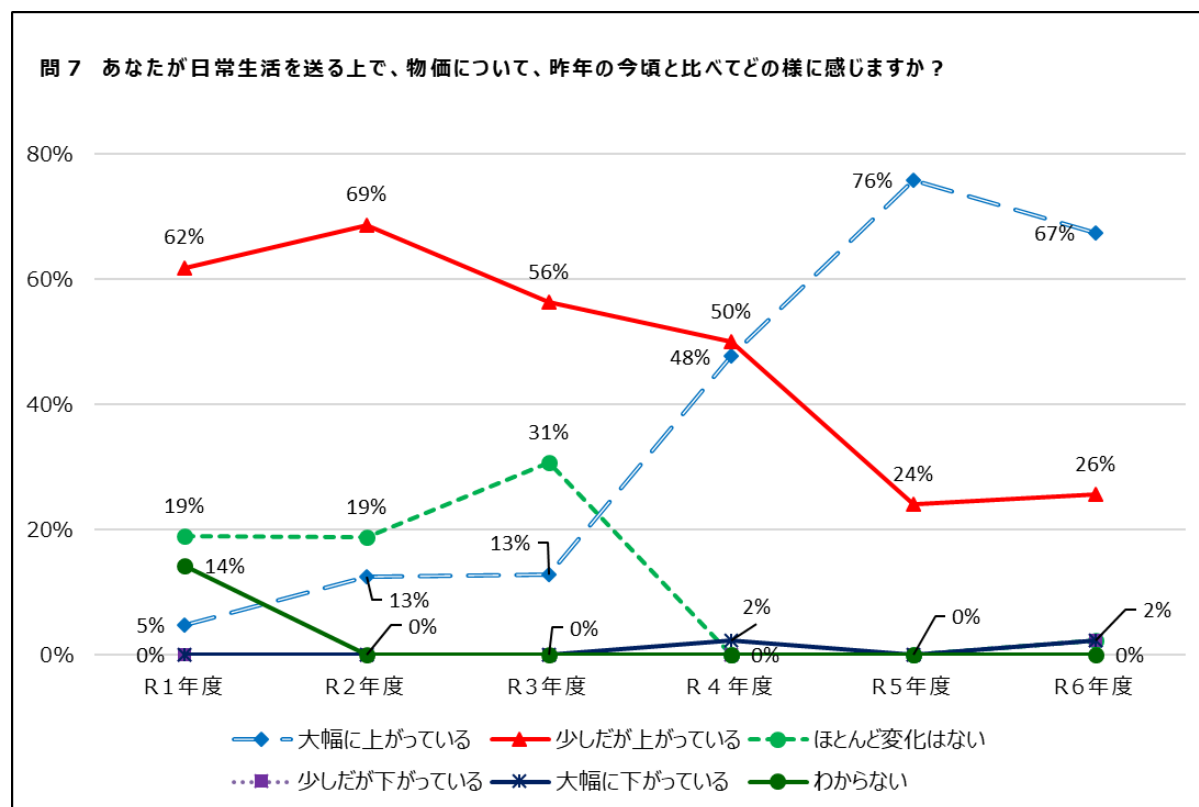
★ 「変化があると思う」との回答の理由では、『収入面での理由』が最も多く、57%を占めています。次いで『生活面での理由』、『健康面での理由』の順となっています。

問6 現在、景気についてどの様に感じていますか？



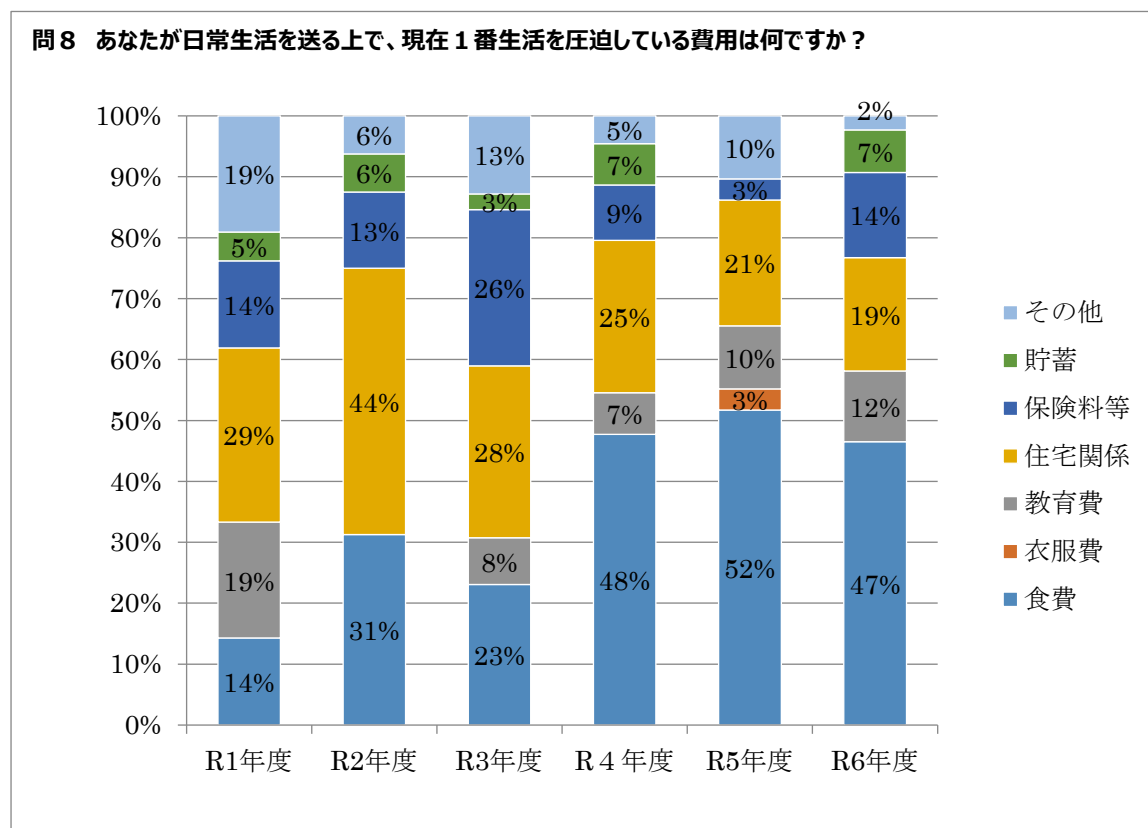
★ 景気について、『悪い』との回答が令和5年度の79%から58%へと減少していますが、依然として高い水準が続いています。『ふつう』との回答が令和4年度から令和6年度の33%へと引き続き増加しています。

問7 日常生活を送る上で、物価について、昨年の今頃と比べてどの様に感じますか？



★ 物価について、『大幅に上がっている』との回答が67%と昨年度から引き続き高い水準にあり、令和3年度と比べ高いと感じる方が引き続き多くいることが分かります。

問8 日常生活を送る上で、現在最も生活を圧迫している費用は何ですか？



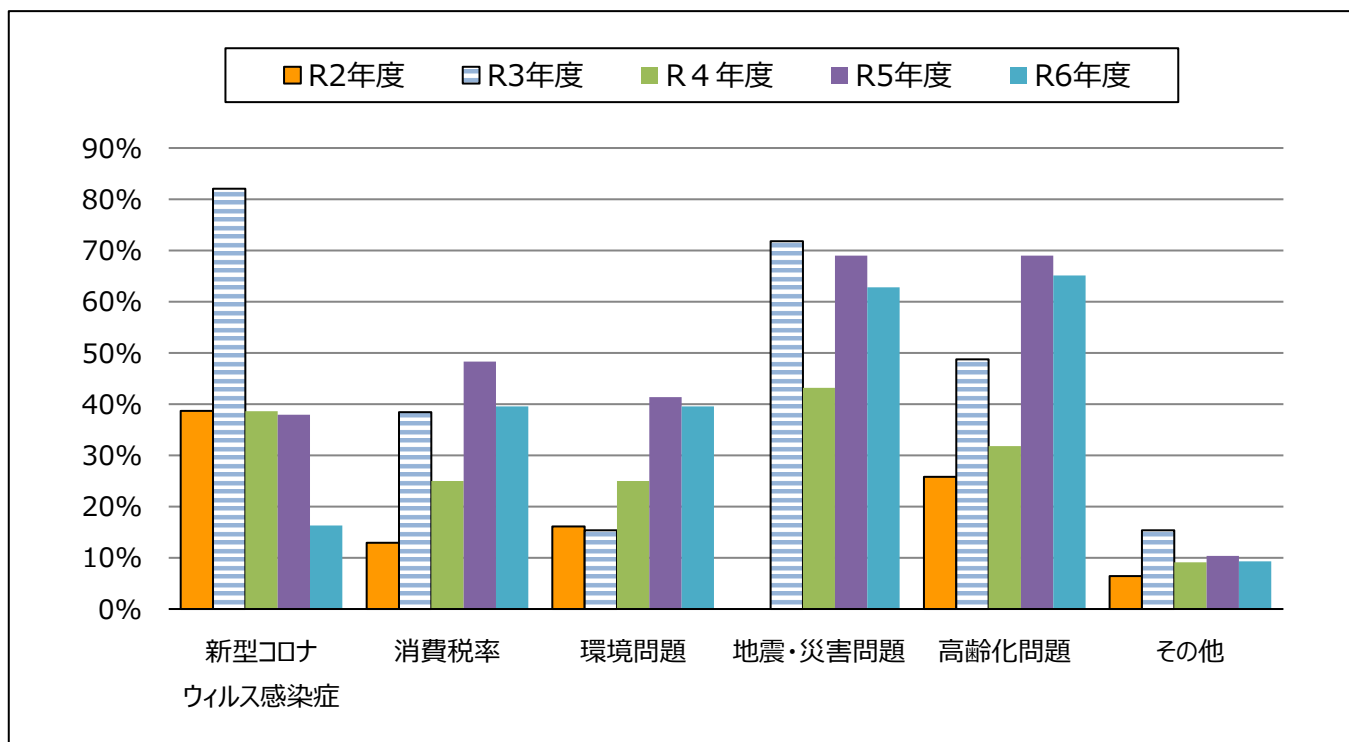
その他の内容

・電気・ガス・水道

	第1位		第2位		第3位	
令和元年度	住宅関係	29%	教育費/その他	19%	食費/保険料等	14%
令和2年度	住宅関係	44%	食費	31%	保険料等	13%
令和3年度	住宅関係	28%	保険料等	26%	食費	23%
令和4年度	食費	48%	住宅関係	25%	保険料等	9%
令和5年度	食費	52%	住宅関係	21%	教育費/その他	10%
令和6年度	食費	47%	住宅関係	19%	教育費	12%

★ 第1位は「食費」の47%で3年連続の1位となりました。第2位が「住宅関係」の19%、第3位が「教育費」の12%となりました。

問9 暮らしの中で不安に思うことはありますか？【複数回答可】

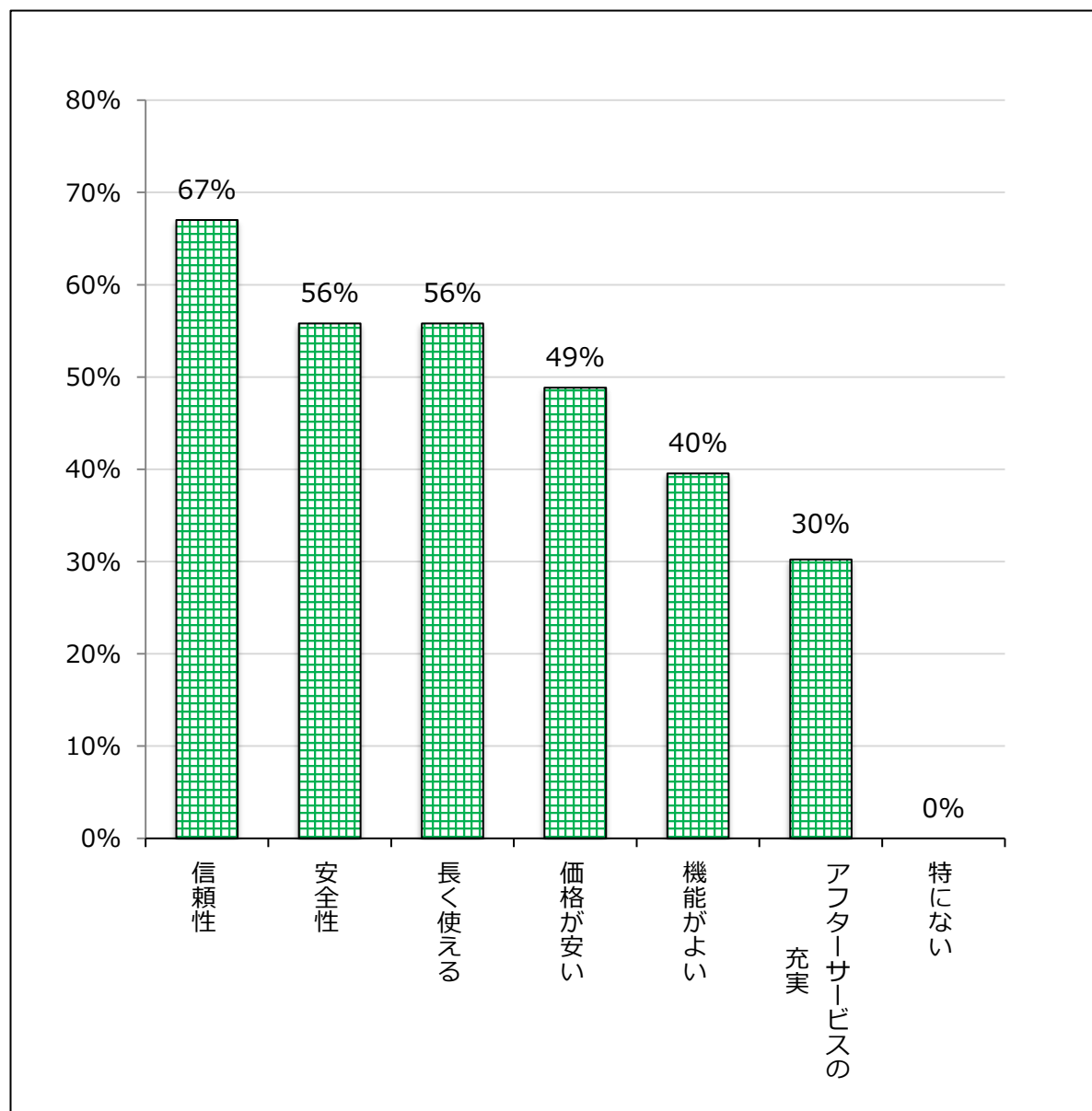


その他の内容

- ・インフラが古いままになり、トラブルが多発すると思う。
 - ・犯罪が増えていること。
 - ・大学生と高校生の子供2人の教育費が高過ぎる。県から都内の学校に通った場合の支援が全く無い。県内の高校を選んだ家庭にだけしか支援がないのはおかしい。
- ★ 「新型コロナウイルス感染症」に対する不安が減少する一方、相対的にほかの問題が上昇していることがうかがえます。



問10 今後一年間商品やサービスを選ぶ際に重視することは何ですか？【複数回答可】



★ 「価格が安い」よりも「信頼性」「安全性」「長く使える」など、価格よりもこれらの点を重視する方が多い結果となりました。

問11 「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしだと思いますか？

《自由意見》（一部抜粋）

- ・ 心理的、金銭的に余裕を持てる生活。
- ・ 月々の生活はなんとかやっていける上にイレギュラーに起こる出費(税金、病気、急な遠出など)もとてらあえず悩むことなく出せる生活
- ・ 金額や予算をあまり意識せずに、買い物や家族でレジャーに出かけられるような暮らし
- ・ 将来の年金支給がきちんと保証されていることを前提に、老後は健康維持と楽しみのために働き、金融投資なども行いながら生活できれば、ますますの「ゆとりある生活」と言っているのではないかな。
- ・ 年に2回程度は旅行に行くこと。
- ・ 新しいことを始めることができること。新鮮な魚をいつでも食べること。賞味期限がもともと短いものを選ぶこと。

- ・被災地にお金で支援ができること。フェアトレード商品を買うことができること。
- ・一人でも楽しめる趣味
- ・健康でやりがいのある仕事があり、衣食住を安定に営める生活。
- ・周りの人、国が争いがなく、お互いに助け合い、笑いあう

問12 新型コロナウイルス感染症がインフルエンザ等と同じ5類に移行されてから1年が経過しましたが、ご自分の生活にどのような変化があったでしょうか。

《自由意見》（一部抜粋）

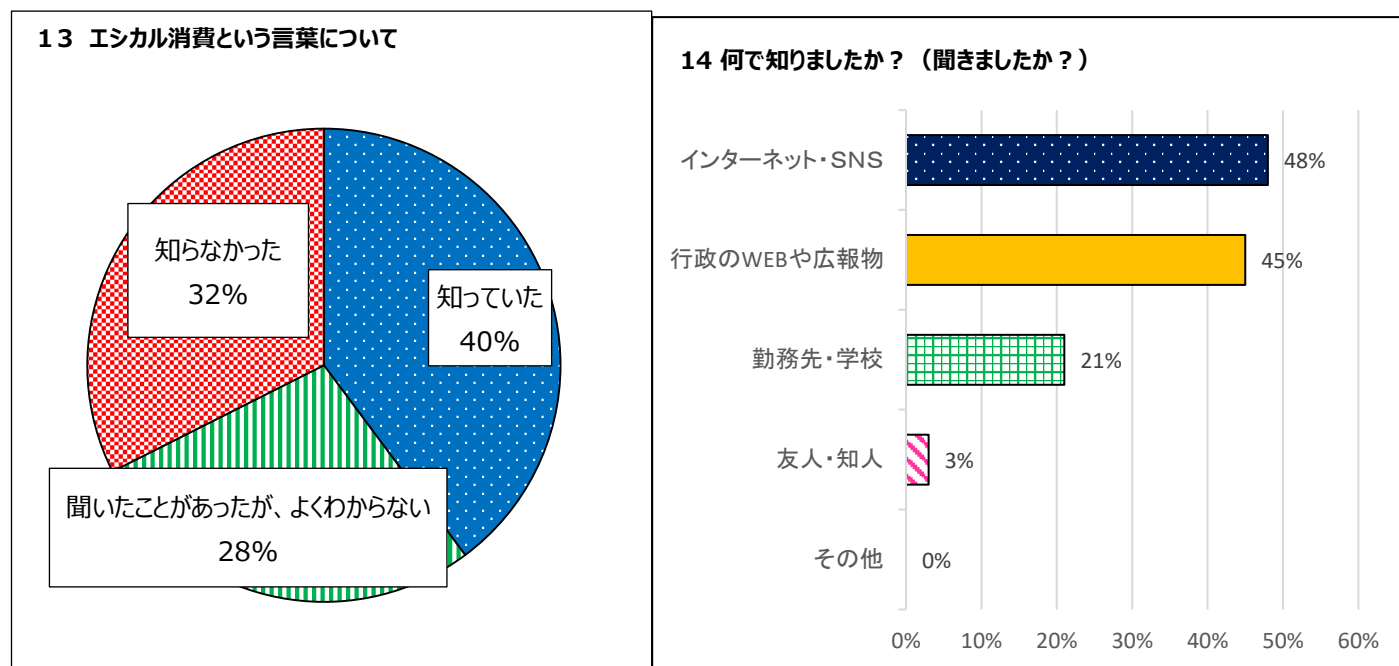
- ・自由にどこにでも行かれるようになった。楽しい時間が増えた。
- ・お祭りなどイベントが増えて、子供たちに色々経験させてあげられるようになった。
- ・手洗いうがいなどは引き続き行っているが、特にコロナ感染症のことを気にするような生活ではなくなり、コロナ前と同じような生活に戻った。
- ・籍を入れただけだった子供の結婚式を催すことができた。色々な会合も以前と同じように開催されようになり、旧交を温めることができた。
- ・マスク着用を任意としながら、強制するような振る舞いが一部に残っており精神的に辛い。
- ・マスク、手洗いなど自分自身の生活については変化はないが、自分を取りまく環境はコロナ禍以前に戻った。
- ・引き続き感染対策を続けている。その他大きないくつかの感染症の報道もあり、高齢者のひとり暮らしをしているものとしては不安が大きい。意識は以前とは余り変わらない。
- ・マスクを外さない人の意思を尊重してほしい。
- ・福祉施設で働いているため、常時マスク、体温測定や感性経路の特定のための一部閉鎖をするなど感染対策を継続している。テレビでマスクをしないで旅行に行くのをニュースで見ているとそれができうらやましさ、違和感、不思議感などを感じている。
- ・ワクチン接種が自己負担になるなど、医療費がかかり生計に影響を与える。
- ・感染し仕事に行けなくなるなど大きな影響を受けている。



Ⅱ．エシカル消費について

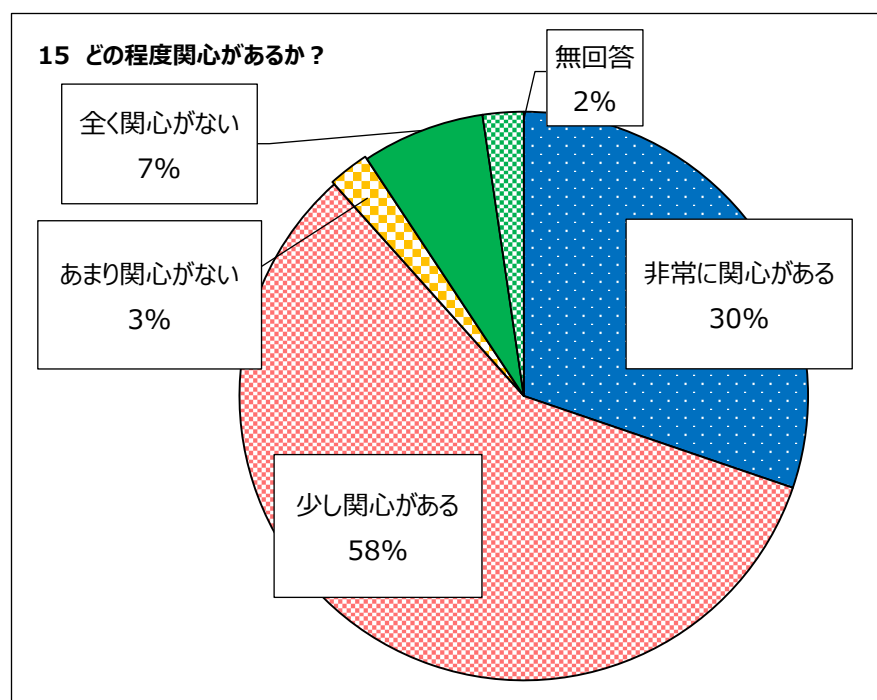
問１３「エシカル消費」という言葉を知っていますか？

問１４「エシカル消費」を何でお知り（お聞き）になりましたか？【問１で「知っている」「聞いたことがある」方】



★ エシカル消費という言葉については、「聞いたことがあったがよくわからない」は28%、「知らなかった」は33%でした。

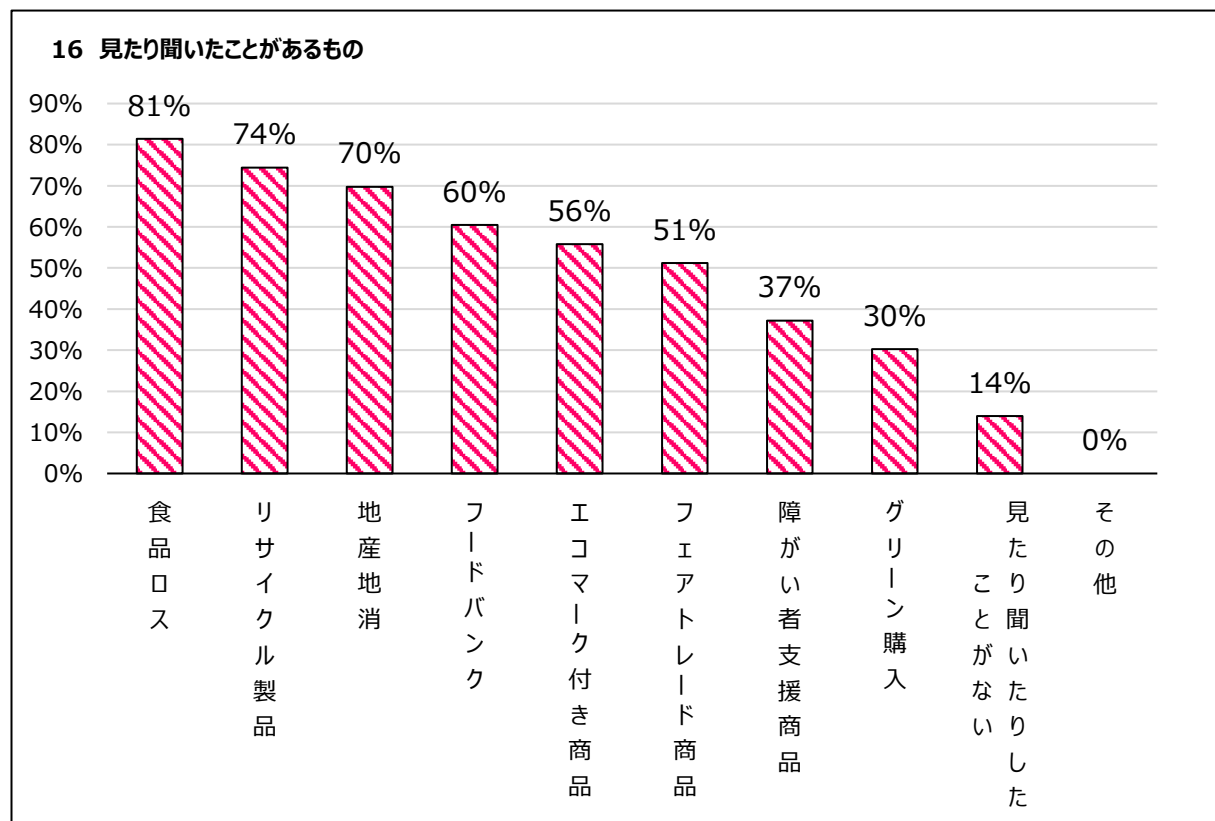
問１５「エシカル消費」にどの程度関心がありますか？



★ 「非常に関心がある」、「少し関心がある」との回答の合計が88%で、「全く関心がない」、「あまり関心がない」との回答の合計の10%を大きく上回りました。

問16「エシカル消費」に関連した言葉や商品で、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか？

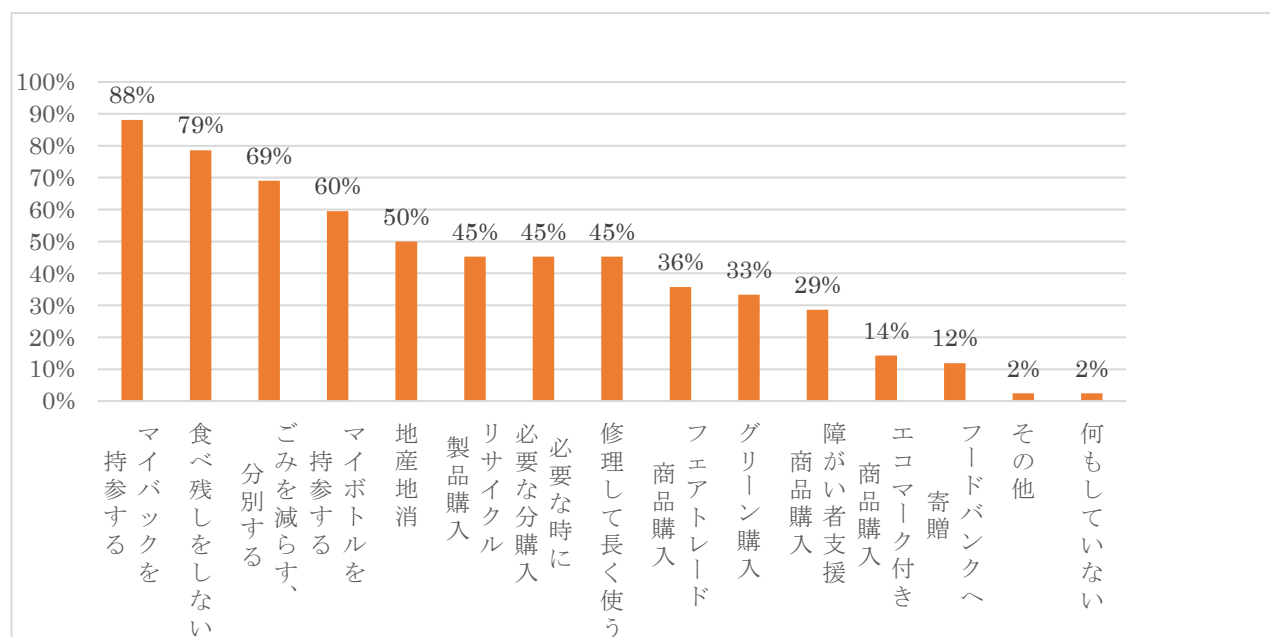
【複数回答可】



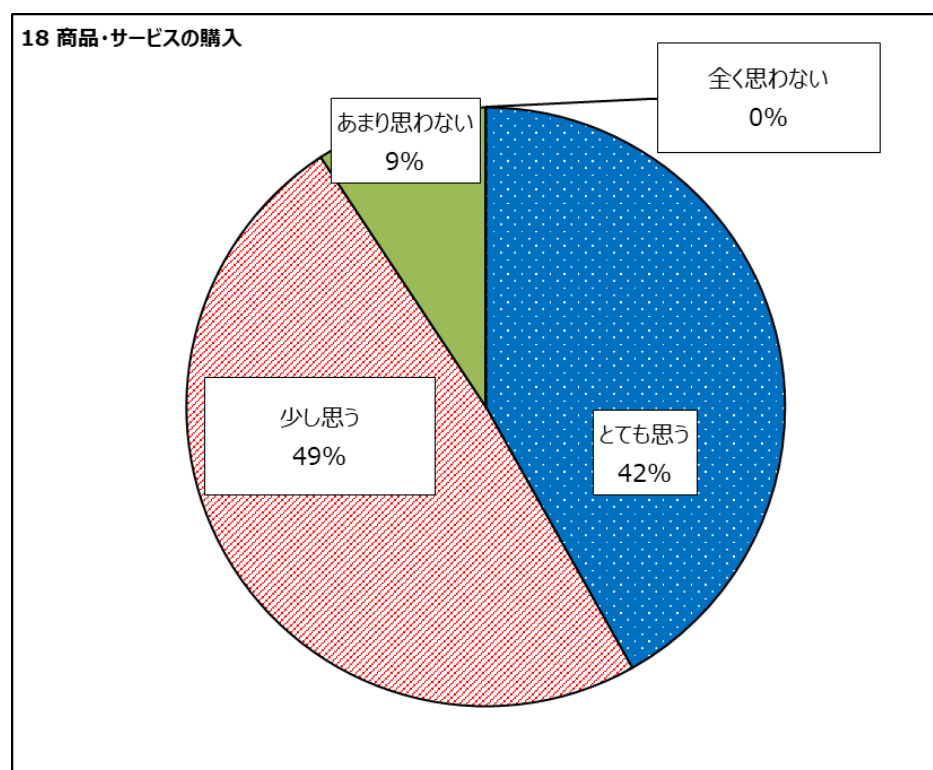
★「食品ロス」、「リサイクル製品」、「地産地消」、「フードバンク」、「エコマーク付き商品」、「フェアトレード商品」、「障がい者支援商品」、「グリーン購入」、「見たり聞いたことがない」、の順となりました。

問17「エシカル消費」の取組としてできそうなこと、やっていることはありますか？【複数回答可】

★「マイバックを持参する」、「食べ残しをしない」、「ごみを減らす、分別する」など、日常的にとりくみやすい項目に多くの方が取り組んでいる結果となりました。

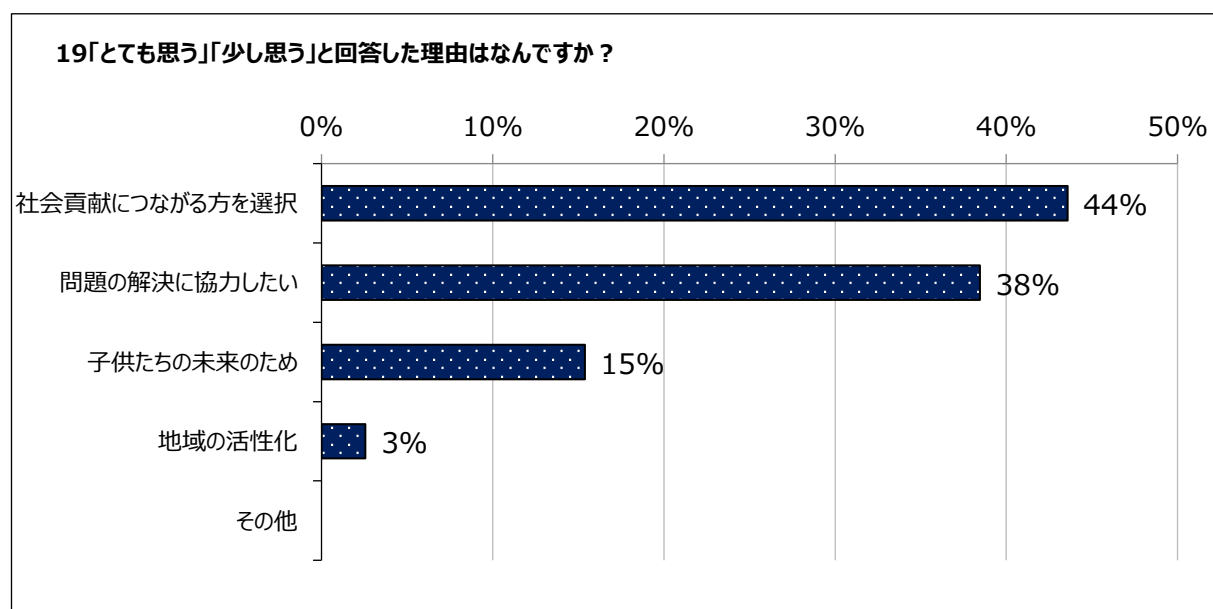


問18「エシカル消費」につながる商品、サービスの購入を検討したいですか？



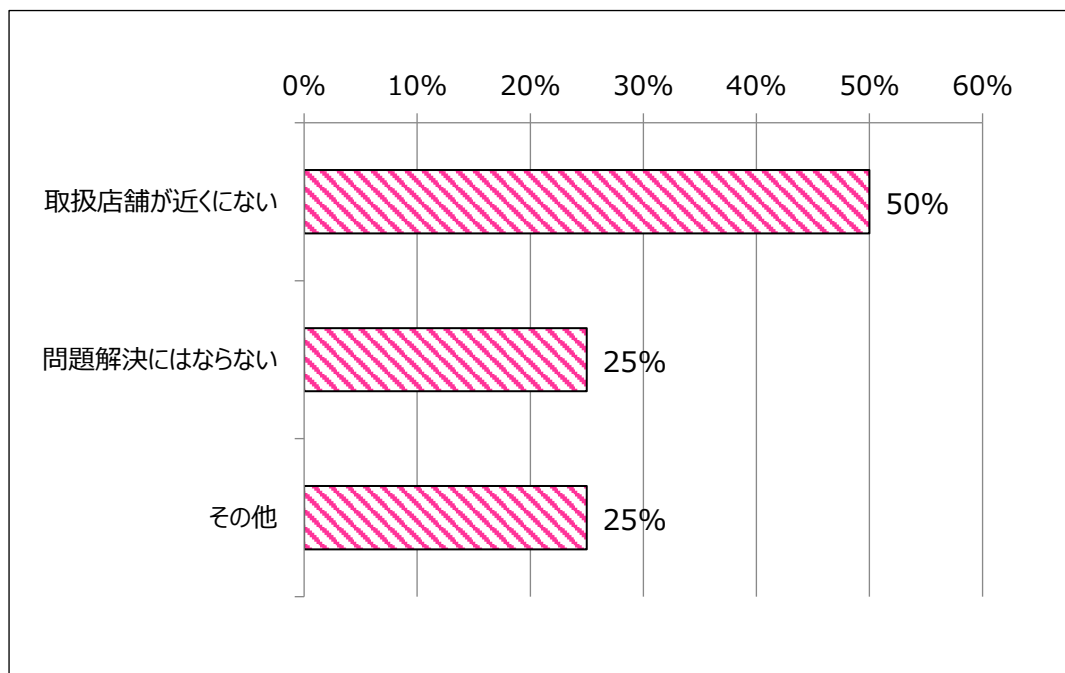
★ 「とても思う」、「少し思う」との回答が、全体の91%と高い割合を占めています。

問19 問18で「とても思う」「少し思う」と回答した方へ伺います。
その理由はなんですか？【複数回答可】



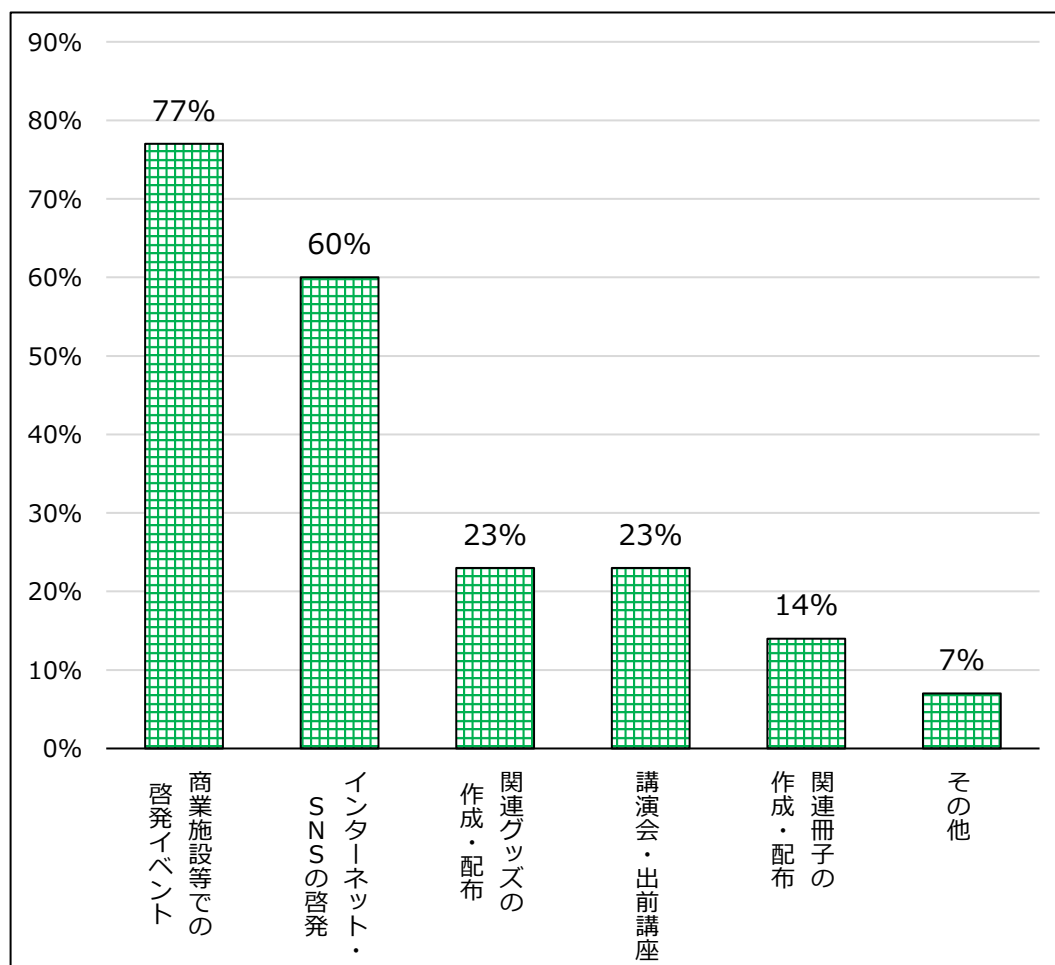
問 20 問 18 で「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方へ伺います。

その理由はなんですか？【複数回答可】



問 21 「エシカル消費」を促進するためには、どのような取組が必要で効果的だと思いますか？

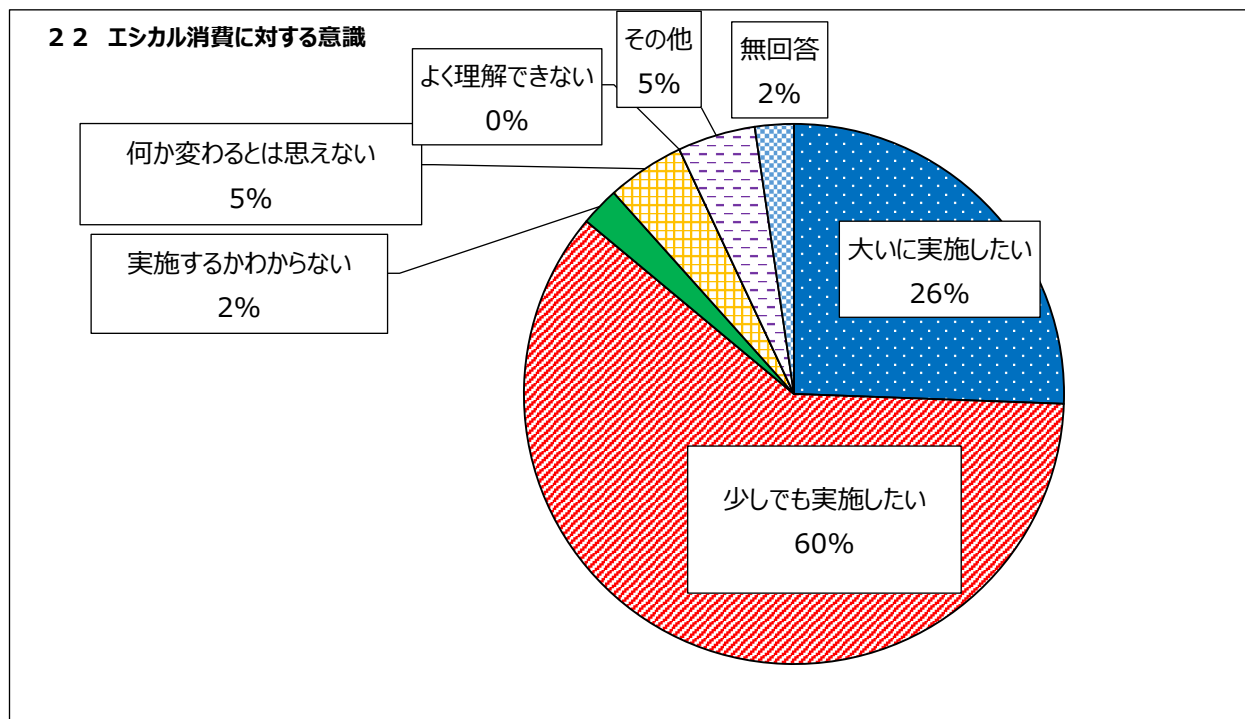
【複数回答可】



その他の内容

- ・賃金、収入が上がること。リサイクル商品を買うことは豊かな行いであると思えること。
- ・企業への働きかけ。
- ・ある意思を持って行政（徴税権をもつ組織）が消費行動を促すことは、国民の自由な意思決定を制限することに繋がるので、取り組み自体不要だと思う。

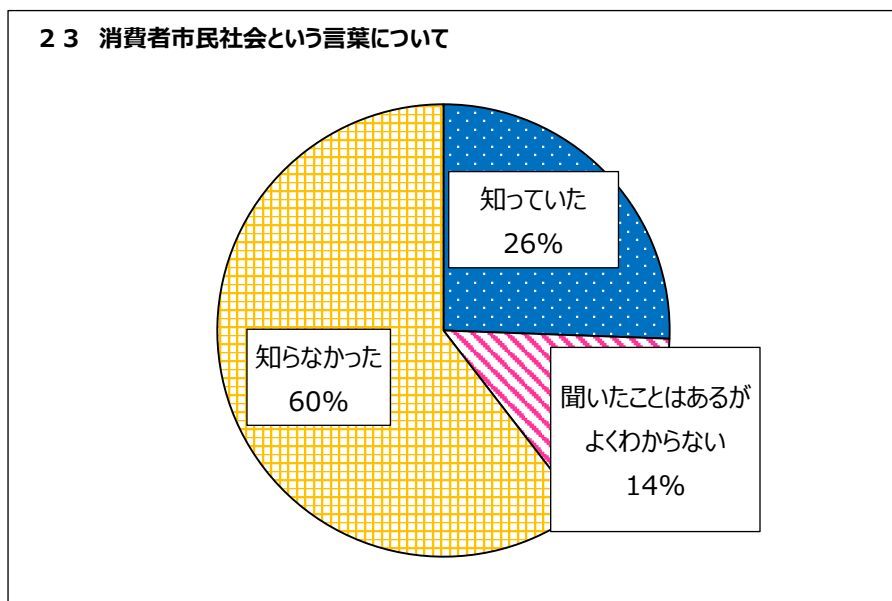
問22 アンケートを通して、エシカル消費に対する意識についてどのように感じましたか？



その他の内容

- ・もともとは実践していたことも、最近では経済的余裕がなくなってきた。エシカル消費はお金がかかるので、お金に余裕が生まれたら積極的にやりたい。
- ・「エシカル消費」の意味は理解しているが、消費行動を行政から指導を受けることには違和感がある。

問23 「消費者市民社会」※という言葉を知っていますか？

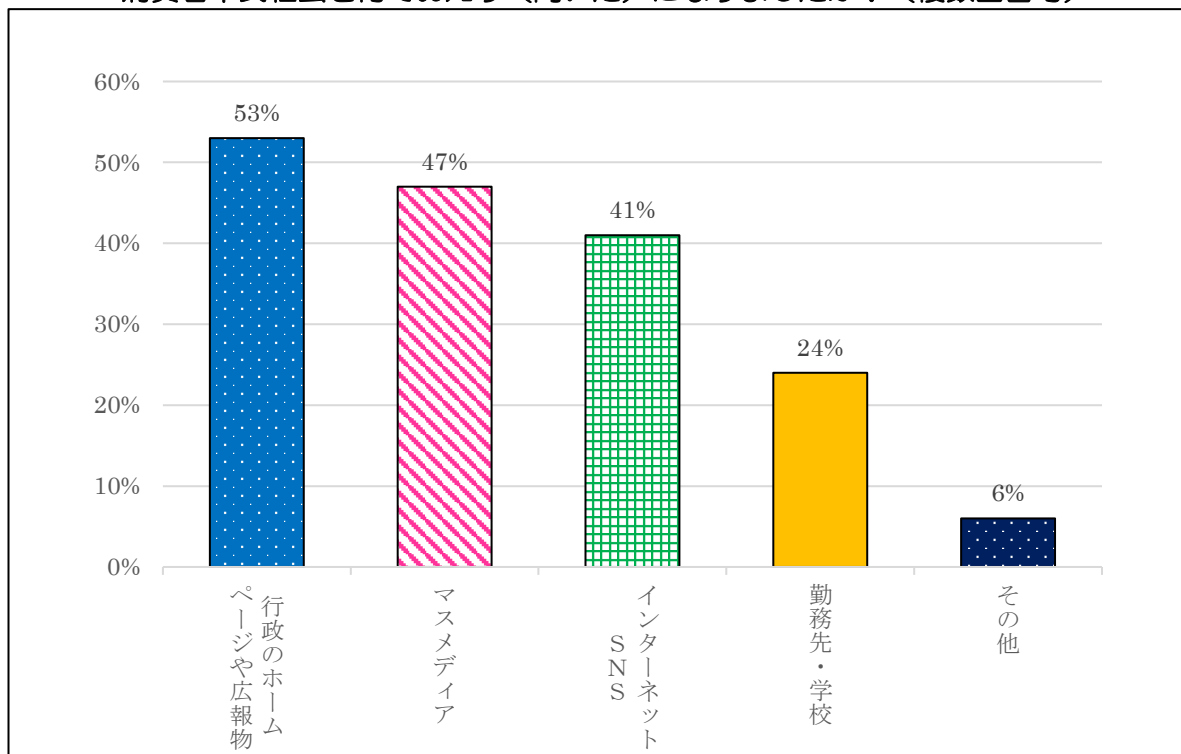


※「消費者市民社会」…消費者一人ひとりが消費を自分の満足のためだけではなく、周りの人々や将来生まれる世代、社会や経済情勢、地球環境などに広く影響を及ぼすことを認識して消費生活を行い、社会の発展と改善に積極的に参加する社会を意味する。

★ 「知らなかった」との回答が約6割を占めています。

問24 問23で「知っていた（意味も理解している）」及び「聞いたことはあったが意味はよくわからない」と回答した方にお聞きます。

消費者市民社会を何でお知り（聞いた）になりましたか？（複数回答可）



問25 エシカル消費・消費者市民社会という考え方について、自由に御記入ください。（一部抜粋）

- 個々の取り組みは社会全体のための認識はあるが、それらをエシカル消費と言うことはしなかった。また、消費者市民社会も知っているようで、理解していなかった。
- エシカル消費が、特別なことではなく当たり前の選択になるような社会になればいいと思う。
- これらの言葉や意味を消費者行政機関の広報物で知った。社会環境も変わりつつあると実感しており、今回、このアンケート調査自身も啓発資料になっていると感じた。
- 消費は市場経済に関わる行動。消費する商品や行動をエシカルのお墨付きにすることは、政府役所が国民の自由な消費行動を制限すること。本来やらなくても良い、やるべきでは無い取り組みに費やすのではなく、防災や安全対応や、DXによる事務のスピードアップ、決算の速やかな報告、公開に当てることを希望する。
- エコな商品は割高なので、値上がりが家計を圧迫している状況でそちらを選びたくても選べない。国が補助するなどして価格を下げて購入を促進し、企業がエコな商品をどんどん開発していけるようになればいいと思う。また、啓発だけでは難しいのである程度の法制化をしなければ状況は変わらないと思う。
- エシカル消費に関して、具体的な場面でどのような行動をすることがいいのかを詳しく知りたい。多くの人に賛同してもらえるよう様々な機会をとらえて広報することが必要だと思う。

- 多くの人に広まって欲しいが、ネーミングの「エシカル消費」が音だけでは意味が想像しにくい気がした。個人的には啓発にはネーミングセンスも大切なのではと思う。
- 行政からの発信は受け取り側の意識の問題でなかなか浸透しないかもしれない。教育、企業との連携で繰り返しアピールが必要。

